

金融経済教育と資産形成の未来（オンラインシンポジウム）に参加！

シンポジウムで興味をもった部分とコメント

行列FP 林健太郎

By 林FP事務所

金融経済教育と 資産形成の未来

オンライン シンポジウム

1. オンラインシンポジウムに参加

- オンラインで初めて参加（地方なので、オフラインはなかなか参加できない）

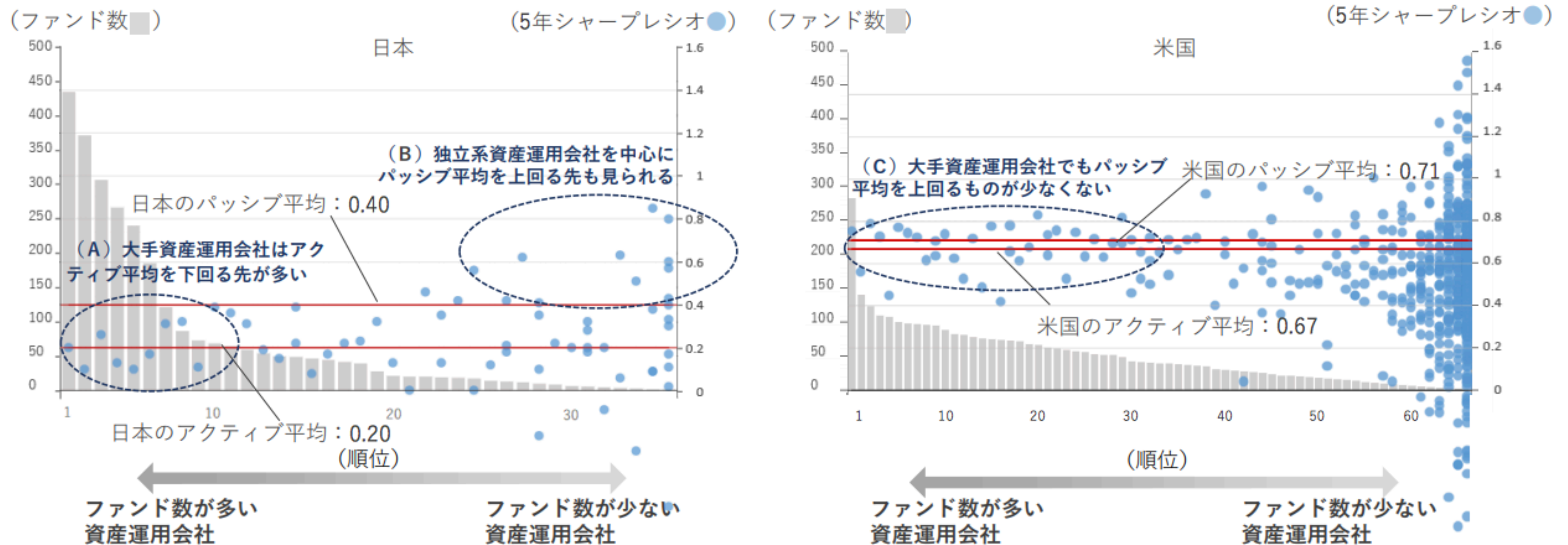
2. 興味をもった話題をピックアップ

- 日本の投信の課題
- アドバイザーの動向
- 新学習指導要領

日本の投信の課題

- 「資産運用業高度化プロGRESSレポート2020」 金融庁
 - 7/20まで、パブコメも受け付けている
- 小粒な投資信託が多く、パッシブよりパフォーマンス（米と比較してかなり）悪い
- 投信を「専売」する商慣行
 - 何年も専売を継続する
 - 残高が増えず、効率的な運用できない→結果パフォーマンス上がらず、経費率高まる
- インベストメントチェーンの改善

日米資産運用会社が運用するアクティブファンドの数とパフォーマンス（左からファンド数の多い順）



(注) 日本は国内公募投信、米国はミューチュアルファンドが対象（日米とも19年12月末時点、ETF等を除く）。各ファンドの5年シャープレシオを残高加重平均して算出。
(出所) QUICK、モーニングスター

「資産運用業高度化プロGRESSレポート2020」金融庁P10より

その他の話題

■ 顧客本位のアドバイザー

- 「利益相反しがちなアドバイザー」と大雑把に表現されていて、まだまだ完全独立のアドバイザーやコンサルタントの認識が薄い現状が分かった
- 米国(Form SCR)や欧州(PRIIPs KID)では顧客本位に関する規制が進む→基本的に開示の方向
→日本でも、今後合理的な説明ができるよう準備が必要でしょう
- 伊藤宏一氏の話
／そもそもライフプランが先。ファイナンシャル・プランニングの一環として投資を検討すべき。投資の目的が必要だろう。
米国では金融商品を購入する前にCFPがアドバイスするサービスが人気（追加料金）

■ 新学習指導要領

- 2022年から高校家庭科で「金融教育」が始まる→ようやくか、という感はあるけど、とてもいいことだと思う
- FPは先生の先生になれる可能性??ただし当面ボリュームは少ないだろう
- 金融教育は「ダルい」?

無料プレゼント中！



詳しくはこちら



<https://startup-fp.com/presentpdf>

行列のできるFP事務所プロデューサー 林健太郎

By 林FP事務所